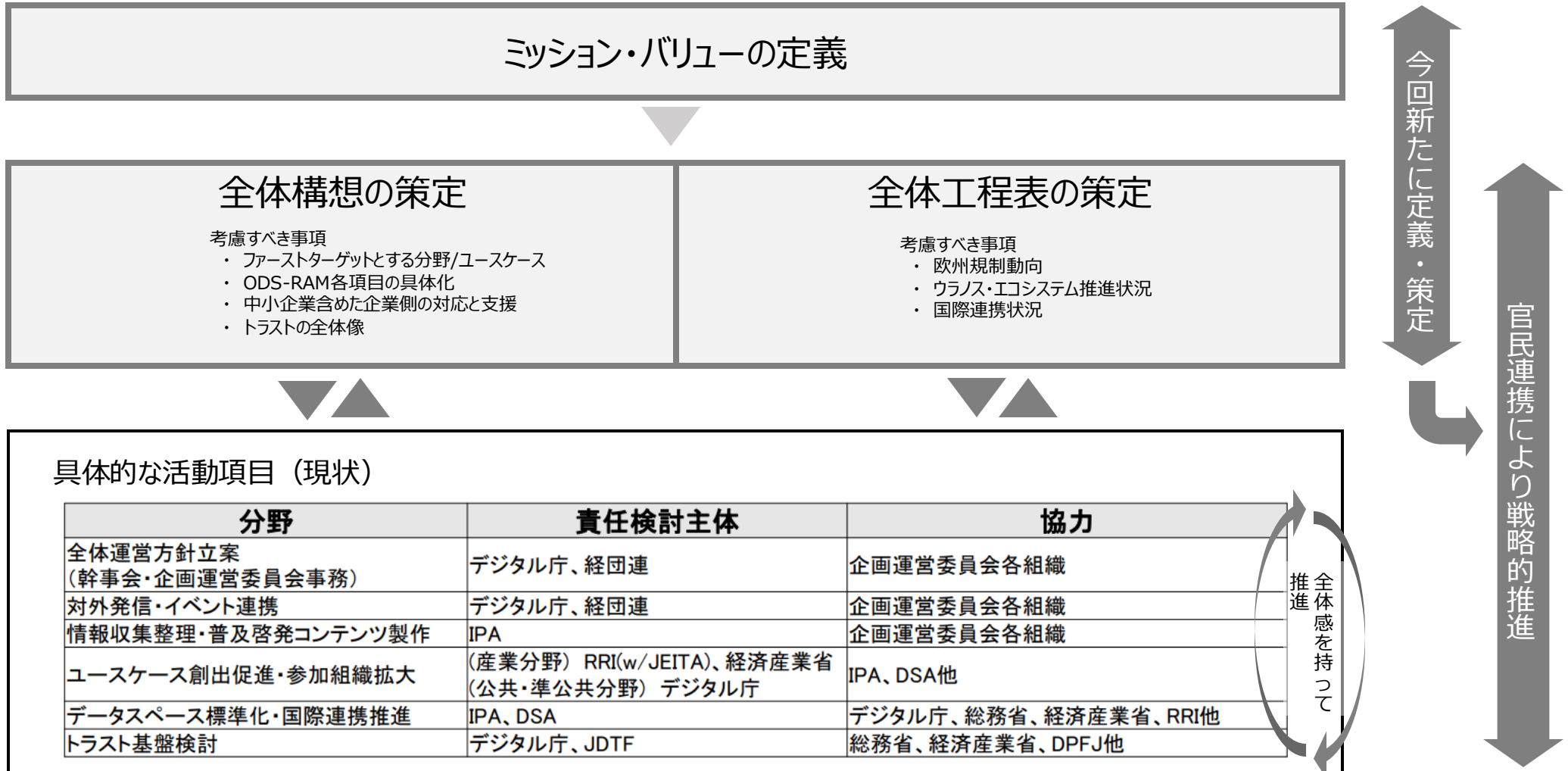


# **デジタルエコシステム官民協議会 全体構想と今後の進め方**

2026/01 デジタルエコシステム官民協議会

# 本資料の目的

デジタルエコシステム官民協議会が、個別活動の集合ではなく、全体感を持った活動を牽引する司令塔となるよう、ミッション・バリューの定義、および全体構想と全体工程表の策定を行い、これに則った活動を官民連携および各項目連携で戦略的に推進する。



# 官民協議会のミッション・バリュー定義

<b>Purpose</b> (目的)	データ連携とAI等による自動処理を活用して、人口減少・労働力不足・環境問題等の社会課題を解決し、持続可能で回復力のある社会を実現する
<b>Mission</b> (使命)	信頼を前提とし、データ連携とAI等による自動処理の取組を生み出すデジタルエコシステムの形成を、官民でVisionを共有する場を提供し促進する
<b>Vision</b> (ありたい姿)	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ <b>データ駆動型社会・自動化社会の実現:</b> セクターを越えたシームレスで安全なデータ連携とAI等による自律的な分析・意思決定・処理が、新たな価値創造とイノベーションを推進する未来</li><li>➤ <b>経済成長の実現:</b> 高度なデータ利活用と安全な自動化基盤により、各企業の経営高度化に加え、諸外国との連携や安定的なサプライチェーンの構築を通じ、日本の産業発展と経済成長を実現していく未来</li><li>➤ <b>持続可能で回復力のある社会:</b> 人口減少、労働力不足、環境問題といった社会課題・地域課題が、データ駆動型ソリューションと自動化技術によって効果的に解決され、より持続可能で回復力のある社会が構築される未来</li><li>➤ <b>国際的リーダーシップ:</b> 日本がDFFT（信頼性のある自由なデータ流通）と自動化に関する国際標準・ルール形成に貢献し、安全なAI等活用のモデル国家となる未来</li></ul>
<b>Value</b> (価値観・行動指針)	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ <b>信頼と安全性 (Trust &amp; Security):</b> トラストの体系化と利用を広め、データ連携とAI等による自動処理における信頼と安全性の礎を築く</li><li>➤ <b>イノベーションと価値創造 (Innovation &amp; Value Creation):</b> データと自動化技術を活用して新たなユースケースを創出するとともに、データ流通市場の創成を図り、人間とAI等の協働による高付加価値サービスを実現する</li><li>➤ <b>包摂性と社会的影響 (Inclusivity &amp; Societal Impact):</b> 「誰一人取り残されないデジタル・自動化社会」の原則を守り、AI等の技術の恩恵を広く社会に還元する</li><li>➤ <b>グローバルリーダーシップ (Global Leadership):</b> データガバナンスと安全な自動化に関する国際標準化へ積極的に参画し、国際的な議論に貢献する</li></ul>

# デジタルエコシステム構築の全体像

デジタルエコシステム構築に向けては、データスペース構築・テクノロジ開発・トラスト基盤構築の3テーマを連携させながら推進する必要。多岐に涉る活動を戦略的に推進するために、官民一体となり活動していく。

